

情報公開文書（オプトアウト文書）

「神奈川県立精神医療センターにおける近年の修正型電気けいれん療法の実際に関する研究」へのご協力をお願い

神奈川県立精神医療センターでは、入院中に修正型電気けいれん療法（以下 m-ECT）による治療を受けた患者さんを対象に、電子カルテに記載された診療録を用いて近年（新型コロナウイルス禍前後）の m-ECT 治療の実際に関する研究を実施しています。この研究は、新型コロナウイルス感染症の蔓延など、変化する社会状況の中でも、患者さんに応じて適切な治療を提供するために役立つと考えております。

研究課題名	神奈川県立精神医療センターにおける近年の修正型電気けいれん療法の実際に関する研究
研究の対象	2017年1月4日から2022年12月28日の間に当院で m-ECT による治療を受けた方を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	新型コロナウイルス感染症をはじめとして、今後も新興感染症など社会状況が変化する可能性があります。どのような状況においても患者さんに適切な医療を提供する必要があり、当院における近年の m-ECT の実際を検証し、より良い m-ECT 治療の方法を検討します。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報外部に漏れることはありません。プライバシーには十分に配慮します。
研究期間	承認日～2024年5月31日まで
研究に使用する試料・情報の種類	電子カルテの診療録情報（年齢、性別、診断名、主訴、入院時入院形態、入院日数、生育歴、現病歴など）
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：医師 北川 理映子
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	北川理映子（神奈川県立精神医療センター）

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022年4月1日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定することはできません。

本研究は神奈川県立精神医療センター内で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんでご自身の

情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先： 研究責任者 医師 北川 理映子
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-822-0241